

(3) 吸入の終了

1 SPフローの調整ハンドルを「閉」に合わせてください。



2 ライトテックDS22の電源を“ピッ”と音がし、電源表示灯(緑色)が消えるまで押して下さい。

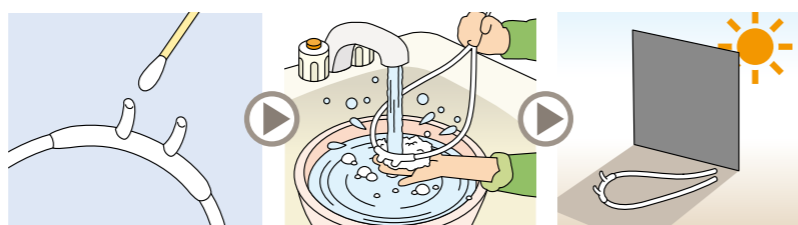


3 酸素出口ノズルとカニューラを外します。カニューラは清潔にし、保管をしてください。



カニューラのお手入れ

鼻に直接装着する部分は特に汚れがたまりやすい為、こまめに洗いましょう。



© 2016 Philips Respiration GK PN 1129509 160701 R1-W

携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器／流量調整器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡下さい。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関名・取扱業者名などを必ずお伝え下さい。

製造販売業者
SPフロー
株式会社医器研
ライトテックDS22
ダイキン工業株式会社

販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**
〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
※各事業所の連絡先は以下のURLで公開しています
www.philips.co.jp/SRC-Office

■機器のトラブルは...24時間対応、安心の技術サポート
平日9:00~17:30 地域営業所・出張所・駐在

夜間・土日受付 営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付
機器安全センター **0120-633-811**

■かかりつけ医療機関名

■酸素のご注文先

携帯用酸素ボンベ／流量調整器(SPフロー) 呼吸同調器(ライトテックDS22)の使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

SPフロー 医療機器届出番号: 11B1X00004000001 ライトテックDS22 医療機器承認番号: 21300BZZ00639000

酸素はおくすり! 医師の処方量を必ず守りましょう。

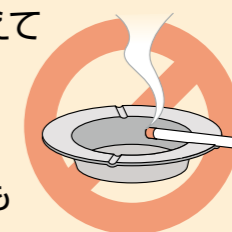
酸素をきちんと吸うことで心臓の他、あなたの臓器が、守られます。酸素はおくすりと同じで、体に必要な量をおぎなう為に処方されています。しかし「息切れ」は必ずしも酸素不足だけが原因で起こるものではありません。「息切れ」が強いからといって勝手に酸素流量を変えてはいけません。

! 火気からは2m以上離れてご使用下さい。

酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。

とくに、**たばこは厳禁!**

酸素吸入しながらたばこを吸うことは、健康面からも絶対にやめましょう。カニューラに引火することもあり、大変危険です。



各部の名称



表示パネル



ライトテック DS22

電池収納部

単三アルカリ乾電池を4本用意して下さい。

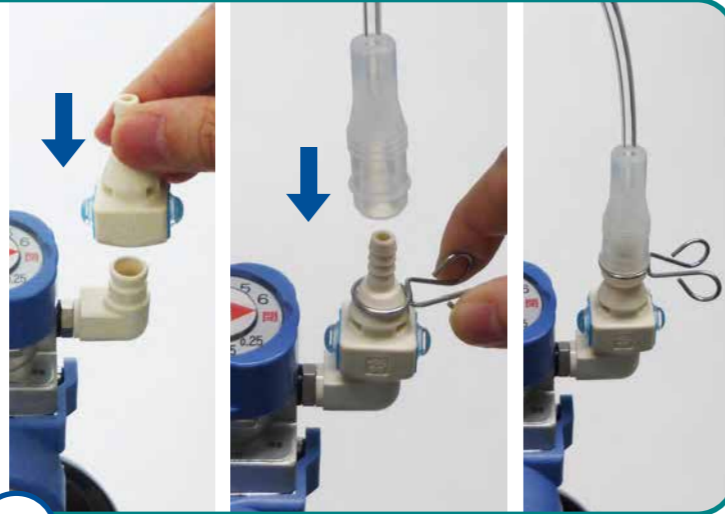


※交換時は必ず4本とも新品にして下さい。

(1) 吸入の準備

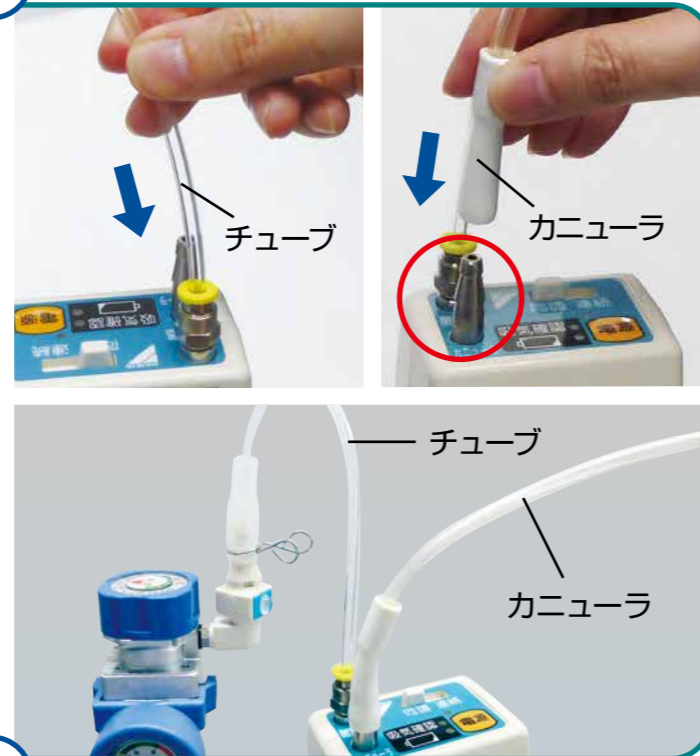
1 SPフローの酸素出口ノズルにチューブを差込み、クリップで固定します。

確認 チューブを軽くひっぱり外れないことを確認してください。



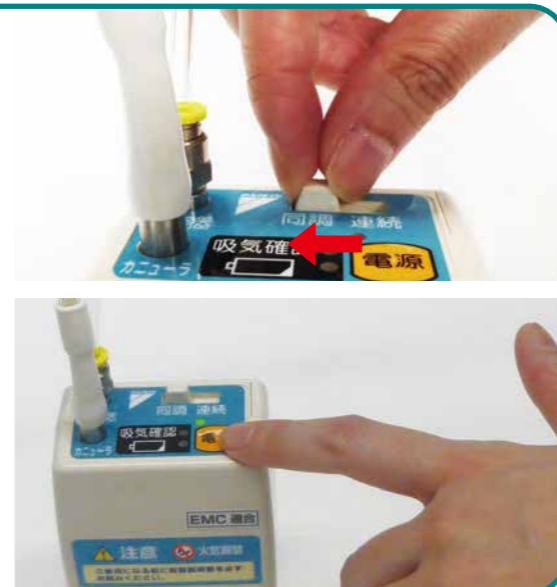
2 ライトテックDS22にチューブの片端と、カニューラをそれぞれ接続します。

確認 チューブを軽くひっぱり外れないことを確認してください。また、傷や破れ、折れ曲がりがないことを確認してください。



3 ライトテックDS22の酸素供給モードを「同調」にし、電源スイッチを“ピッ”と音がするまで押し下さい。

確認 電源が入ると電源表示灯が緑色に点灯します。



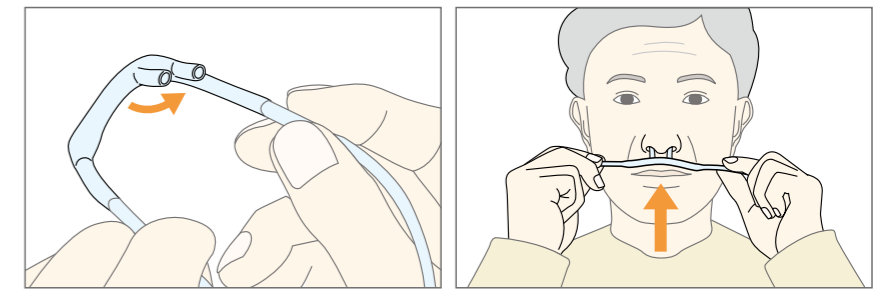
(2) 吸入の開始

1 SPフローの調整ハンドルをゆっくりと回し、主治医の処方に従った流量に設定してください。カニューラを装着し、酸素吸入を開始してください。

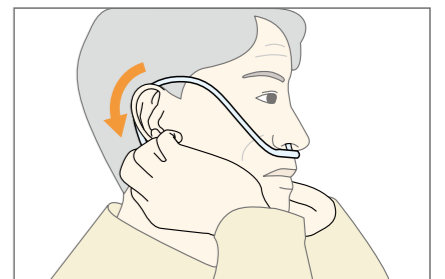


● カニューラの使い方

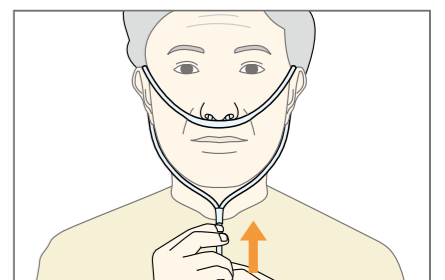
1 カニューラの方角を確認し、鼻孔に装着します。



2 左右の耳にカニューラをかけます。



3 ストッパーを上げます。



⚠ 使用前に必ずチューブの点検を行ってください。